

SAGA2024国民スポーツ大会

～本町出身の騎士、華麗なる舞台上で躍動～

10月5日から15日にかけて、佐賀県をメイン会場に「SAGA2024国民スポーツ大会」が開幕し、熊本農業高校3年の穴見凱斗さん(大見口)が馬術競技・少年団体障害飛越競技で熊本県代表として出場しました。

団体障害飛越競技とは、競技コースに設置された様々な色や形の障害物を、決められた順序で飛越、走行する競技です。当日、穴見さんは高い技術と馬の能力、さらにそのコンビネーションを十分に発揮し、華麗な走行や飛越を見せてくれました。



華麗に馬を乗りこなす穴見さん

輝く汗と挑戦の証！

～上益城郡中体連駅伝競走大会～

10月11日、旧朝日小学校周辺において、上益城郡中体連駅伝競走大会が開催され、上益城郡内の中学校から男子12チーム、女子11チームが参加しました。本町からも矢部中・清和中・蘇陽中が出場。走り終わると倒れ込む選手もあり、力走した選手を称えながらチーム一丸となって襷をつなぎました。

沿道からは、保護者や地域の人から、懸命に走る選手たちに温かい声援と拍手が送られました。



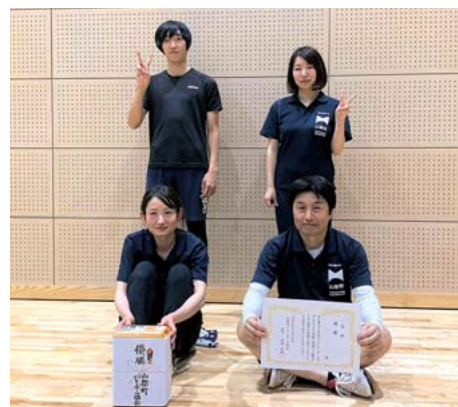
第34回ソフトバレーボール大会が開催

10月16日・17日、総合体育館パスレルにおいて第34回ソフトバレーボール大会が開催されました。

今回は8チームの参加があり、Goziu(役場チーム)が熱戦を制し優勝を飾りました。

大会結果

- 優勝 Goziu
- 準優勝 Lapis 1



第1回山都町剣道錬成大会 125チーム約600名の剣士が山都町に集結！

10月26日、山都町剣道協会主催による「第1回山都町剣道錬成大会」が山都町総合体育館パスレルで開催されました。

大会には県内外から125チーム、総勢約600名の剣士が集結し、1日を通して熱戦が繰り広げられました。中学生男子の部では、矢部洗心会が記念すべき第1回大会で見事優勝に輝きました。



中学生男子の部で優勝した矢部洗心会

「ふるさとを誇る」子どもたちに

9月21日、仁瀬本神社例祭が開催され、蘇陽小学校の児童が参加し、鼓笛演奏が行われました。

鼓笛演奏では全学年が参加し、3年生から6年生が楽器演奏、1年生と2年生が踊りを担当しました。演奏後には、地域の皆さんから温かい声援と拍手が送られました。

蘇陽小は中学校区の共通目標に「ふるさとを誇る」掲げており、「地域を知り、地域に貢献する」活動の一環として、鼓笛前に仁瀬本神楽見学や神輿くぐり、獅子との交流を行いました。伝統行事への参加を通じ、地域の文化と触れ合う貴重な体験ができ、地域についての理解を深める良い機会となりました。



左上:鼓笛、右上:仁瀬本神楽 左下:神輿くぐり、右下:獅子

ひまわりでつなぐ山都町(矢部小)と大牟田市(みなと小)交流会

10月1日、ひまわりの種で繋がった矢部小学校と大牟田市立みなと小学校5年生同士の交流「ヒト×ミチ ワークショップ」が大牟田市立みなと小学校で開催されました。

矢部小学校の児童から、今年6月に道の駅通潤橋にて、ヒマワリの種リレー式が開かれ今回、ヒマワリが無事開花したことや町民の癒しの場所になっている事の報告を行いました。

交流3回目となる今回は、スゴロクとカードゲームを使ったワークショップが行われ、課題解決に向けて知恵や意見を出し合い、大変盛り上がり、ひまわりと道路で両県の小学校をつなぐ取り組みとなりました。



矢部小とみなと小の交流会の様子

清和中学校×支援ハウス「清楽苑」

～伝統文化が繋ぐ世代間交流～

10月1日、清和中学校の生徒とデイサービス利用者(清楽苑入居者)との交流会が初めて開催されました。3年生による清和文楽の所作踊りと三味線演奏が披露され、参加者からはたくさんの拍手が送られました。

この所作踊りは、平成16年に清和文楽の所作を参考に作成され、現在では清和文楽の里まつりなどで披露されています。

参加者の方々からは、「60年以上前、私も文楽で踊っていました。その伝統が今でも傳承されていてうれしかった。」「生徒たちは上手に踊っていて感心しました。元気をもらいました。」などの感想が聞かれました。



所作踊りと野田空良さんによる三味線演奏の様子